

酒田市白鳥を愛する会

活動概要

何と言っても地域の子供たちとの活動が大きく、地域・学校・子供たちと、人と人とのつながりの中から何かを学んでいただこうと、白鳥を通じた活動をしております。

活動内容紹介

昭和41年酒田市立第三中学校の生徒たちの、「最上川の中州に雪玉のような白い鳥がいる。何という鳥だろう、調べてほしい。」から始まりました。

その後、白鳥とわかり餌付けに成功、子供たちとの安全な“ねぐら”越冬環境の保身に活動を始め現在に至っております。

活動は、白鳥の大好物、マコモの自然食。春にはスワンパークに、第三中学生と27回目となるマコモの植栽活動も実施しております。

春には第三中学生と、訪れる観光客の親水広場や花壇への花植えを、秋には港南・亀ヶ崎・松原の子供会とコスモスの種まきを実施しております。

シーズン中に不慮の事故で命を落とす白鳥もおりますので、2月には「供養祭」も実施して、命の大切さなどについて住職から講話を頂いております。



第26回マコモの植栽

年間の活動予定

毎シーズン（12月から3月まで）スワンパークの観察小屋で、観察に訪れる観光客の安全の見守りと、白鳥に関する質問や疑問などにきめ細やかに対応し、酒田のイメージアップに努めております。最近は特に外国からの観光客が多く見られますので特に気を使います。

花火大会後の清掃活動。東北電力さんとの清掃活動。監視活動以外のシーズンは、花壇の花植えから、除草・散水と、1年を通してスワンパークとその周辺環境整備に取り組んでおります。

白鳥は安全な“ねぐら”と、広大な餌場“庄内平野”を指名して越冬地に選んでくれました。

餌付けをしていない、自然の姿の白鳥が素晴らしいという声も聞こえてきます。

※メンバーの募集状況：随時募集

担当 会長 後藤 榮

TEL 0234-23-7481（FAX兼用）

所在 〒998-0853 酒田市みずほ2-8-7
松原コミュニティ防災センター 内

メール

HP